

確かな技術に磨きをかけて

技能功労者として5人を表彰

十一月三日の「文化の日」に、「技能功労者表彰式」が行われました。十回目を迎えた今年は、四職種、五人の方に、表彰状と記念品およびバッジが贈られました。

大工さん、畳屋さんなど、それぞれ

の道一筋に歩まれ、永年にわたって技術を磨き、鍛え上げた確かな腕で、社会に貢献されてきた方ばかりです。

科学技術の進歩によって、機械化などが進む中、地道な仕事をされて

いる方たちですが、額に汗して物を作る技能と労働の尊さにあふれています。

今号では、受賞者の皆さんの経歴、そしてその思い出などを紹介します。

○は経験年数、順不同。

がけられた一般住宅は、百二十戸にも及び、市民生活の向上にも貢献されました。

中野秀夫さん
洋裁師 ③⑧
中沢町 60歳

昭和三十二年、新津市注文洋服組合に加入し、組合の会計として活躍しました。この間、講習会、セミナーなどにも進んで参加するなど技術向上にも努められ、業界の発展に貢献されました。

斎藤実さん
製菓技術師 ④⑨
本町三 61歳

昭和三十八年から五十四年まで新津市菓子工業組合の役員を、昭和四十六年には中東浦原支部の会計を務められました。この間、笹だんご、三色だんごの製品改良など品質の向上に尽力されました。

また、後進の指導にも当たり、業界の発展に貢献されました。

昭和四十二年、新津市建築組合に加入以来、組合発展のため、積極的に協力されました。十年にわたって組合定期総会の議長を務めました。

笠原光雄さん
大工 ④②
北潟 62歳

昭和四十二年、新津市建築組合に加入以来、組合事業の強化と発展のために、積極的に協力されました。地区役員として後進の技能向上に努められ、内弟子も育成されています。

また、卓越した技能で手

など、後進の技能向上の指導にも当たり、現在も弟子を育成しています。

この間、西島、北潟の各集落開発センター、北潟神明宮の手洗清め場をはじめ、一般住宅七十戸、倉庫などを三十軒手がけられ、市民生活の向上にも貢献されました。

岡田敏衛さん
大工 ④④
新栄町 62歳

昭和四十二年、新津市建築組合に加入以来、組合事業の強化と発展のために、積極的に協力されました。地区役員として後進の技能向上に努められ、内弟子も育成されています。

また、卓越した技能で手



奥さんとごいっしょに三役を囲んで記念撮影をする技能功労者の皆さん



表彰状と記念品、バッジが贈られました

祝新津市技能功労者表彰式

自分の仕事に自信を...

新井田清さん (本町二) 60歳

「今ではほとんど手仕事もなくなりました」という新井田さん

「父親が畳職人をやっていたせいか、子どものころから畳職人になると思っていました」という新井田さんは、畳職人として三十九年のキャリアをお持ちです。

新井田さんが父親の後を継いで、畳屋の仕事始めたのが昭和二十四年。小さいころから仕事を手伝っていたので、このときには、すでに仕事のコツはわかっていました。

手仕事で畳を縫ったときは、ひじが真っ黒になったりして、夏でも半そでのシャツが着れなかったそうです。また、十二月に鹿瀬町の老人ホームまで仕事に行き、三十畳もある道具をかついで、雪が降り積もった山道を歩いたこともありました。

「畳屋だけは手仕事だ」と思っていた新井田さんの店にも、昭和三十七年には、機械が導入されました。そのときは、「畳屋を始める前、国鉄で機械関係の仕事に携わっていた」という経験が役に立ったといえます。

「機械で畳を縫う方が、手で縫う

よりもうまく縫えるので、今では、手仕事をするのはほとんどなくなりました」と新井田さんは言います。

が、息子さんが自分の仕事を継いでくれるというのを知ったときは、とてもうれしかったそうです。

「職人は、自分の価値を高く評価しなければなりません。これが仕事の自信につながるのです」と新井田さんは、力強く語っておられました。

※新井田さんの父親、繁太郎さん。第一回の技能功労者として表彰されており、今回の清さんの表彰で、親子そろっての受賞となりました。

たもの

④江戸時代以前から使われている原材料を使っているもの

⑤いわゆる「産地」が形成されていること

⑥ゆとりと潤いのある生活

墓石 記念碑 石塀 建築石材
石材工事一式設計施工

墓石 川上石材店

墓石修理、補修、見積、設計等
御電話下されば御伺い致します

TEL 23-0387 新津市中沢町2-6



毎年、恒例となった菊まつり

菊まつり

三千鉢が咲き誇る

新津菊まつりが、十一月一日から十五日まで、堀出神社で開かれました。境内には約三千鉢の菊が咲き誇り、訪れた人たちの目を惹かせてくれました。

- なお、菊花展の成績は、次のとおりです(敬称略)。
- 農林水産大臣賞：堀川武夫(野方) ■県知事賞：中村中男(秋葉一)、堀藤正喜(横越村)
 - 出神社司賞：中村中男(秋葉一)、押味武美(南町) ■市長賞：山田勉(古田) ■市議会議長賞：加藤正喜(横越村)
 - 観光協会賞：藤田末吉(本町二) ■市教育委員会賞：江口澄雄(本町三) ■公民館長賞：柏木桂二(寛路津)
 - 文化団体協議会長賞：吉田秀一(岡田)
- ※このほか、九人の方が入賞されました。



新しい。美しい。暖かい。11月は伝統的工芸品月間

日本には、古くからそれぞれの地域の風土や住民の生活の中で育まれてきた織物や陶磁器などの伝統的工芸品が、全国各地に数多くあり、「用と美」を兼ね備えた生活用品として、私たちの暮らしに豊かさや潤いを与えてきました。

▼伝統的工芸品の五条件

伝統的工芸品産業の振興を図るため、昭和四十九年に「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」が制定され、さまざまな振興策がとられてきました。また、昭和五十九年からは、毎年十

- 一月を「伝統的工芸品月間」として、全国各地でいろいろな催しが行われています。
- 現在、通商産業大臣の指定を受けている伝統的工芸品は、百六十六品目(用具、材料三品目を含む)のほつています。この指定を受けるためには、次の条件にあつた工芸品でなくてはなりません。
- ①主として日常生活に使われるもの
 - ②主要工程が手作りであるもの
 - ③江戸時代以前から続いている技術や技法で作られ

- るもの
- ④江戸時代以前から使われている原材料を使っているもの
 - ⑤いわゆる「産地」が形成されていること
 - ⑥ゆとりと潤いのある生活
- 物質的に豊かになった今、私たちは、心の豊かさを求めて、ゆとりや潤いを大切にしたいと願っています。伝統的工芸品は、そうした私たちの願望をかえてくれるばかりか、洋風化した現代の暮らしにも調和する可能性を秘めています。この機会に、皆さんも伝統的工芸品の良さを見直してみませんか。

お買物、ご用命は市内で

肌着・化粧品
資生堂チェーンストア

本町2丁目

マツヤ (22)0418 (23)0630

第四銀行が向かい。北越銀行がとなり。

襖、壁、障子、天井、カーテン
ブラインド、カーペット、クッションフラワー

美術表装、額、掛軸

表具一心堂

本町3 22-2035

☆地方発送承ります☆
特選新高梨

“当店自慢の甘くておいしい梨です”

フレッシュでおいしい果物の店 **やまいし** 新津市本町3 TEL 23-0397